


# 御喜樂烈々

一、 さあさあ れつなん 烈男 れつじよ 烈女 れつじよ 揃い踏み はか 萬御荷物承 うたかた □

万華錦の百色眼鏡 ばんかにしよ ひやくいろのがね 移ろいは儂くもない はか 泡沫の うたかた

昔を結ぶよさこいは いまだ遊びのあることを

いさいさておき さ まずはとらつく

 土佐は良い国 なをうけて薩摩おろしが そよそよと

土佐じゃ土佐ぜよ！ げにてんくろう

熱いも冷いも とんとわからず

鳴子咲く咲く 焦がれて朱色

ついて離れて たまらない

よいさほいさ × 16


よつちよれ×6 よつちよれよ

二、 ではなく れつぷう 烈風 ふとこら 荒波 れつぷう 懐に ふとこら 萬御荷物承 □

氣炎万丈真夏の途中 きえんばんじやう 灼熱の しやくねつ 烈風 れつぷう 熾烈 しつれつ 氣にもせず

今生後生 こんじようごしよ よさこいは ご 伍して すえ 順繰り すえ 未々に

これじゃこれちや これぞとらつく

 ゆうたちいかんちや おらんくの池にや 潮吹くさかなが泳ぎよる

土佐じゃ土佐ぜよ！ それがどういた

生まれおちての 読み書き 鳴子

鳴子火の花 焦がれて 朱色

鳴ってやるさと むきになる

よいさほいさ × 16

よつちよれ×6 よつちよれよ